

○事業所名	つくし学園			
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日		～	令和6年11月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～	令和6年11月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月26日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの身辺自立に向けての支援を中心に行っていること。	・子どもの生活の場として、安心して過ごせる環境づくりを心がけています。 ・子どもの生活リズム等を細やかに観察し、丁寧に支援しています。 ・絵カード等を用いることで、子どもが見通しを持って行動できるよう支援しています。	・PDCAサイクルを意識しながら、個々の子どもに応じた丁寧な支援を行ってまいります。 ・職員研修等を通じて、職員の資質向上に努めてまいります。 ・丁寧な支援を行うため、人員配置等を見直してまいります。
2	・給食サービスを提供していること。	・栄養士が作成した献立に基づき、施設内で調理し、提供しています。 ・子どもが色々な食材に触れる機会を提供しています。 ・子どもの食事の好み等にも配慮しながら支援しています。	・栄養士、調理員との連携を図りながら、給食サービスをより充実していけるよう、努めてまいります。 ・個々の子どもの状況に配慮しながら、支援してまいります。
3	・丁寧な保護者支援を実施していること。	・連絡ノートを活用したり、日々の送迎時や、面談、保護者懇談会等を通じて、保護者の方とのコミュニケーションを大切にしています。 ・ペアレントトレーニング講習会を実施しています。 ・親の会の活動についても、職員が支援しています。	・職員研修等を通じて、より充実した保護者支援を図れるよう、今後も努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・施設の経年劣化が進んでいること。	・随時修繕は行っていますが、予算の制限もあり、施設の老朽化が進んでいるため。	・施設の修繕、移転等に関する計画の策定及び予算の確保が必要です。 ・安全点検を行い、危険箇所や修繕が必要な箇所については、補修してまいります。
2	・リハビリテーション専門職による個別支援の実施回数が少ないこと。	・作業療法士は他部署からの派遣、言語聴覚士も嘱託のため、実施できる日が限られているため。	・回数、内容について、より充実できるよう努力してまいります。
3	・サービス提供内容について、柔軟な対応が難しいことがあること。	・公立公営ということもあり、サービス提供内容については、柔軟に変更しづらい面があるため。	・公立施設としての公平性も保ちながら、サービス提供内容の充実を図るよう努力してまいります。利用される方のニーズの把握にも努めてまいります。